

令和5年度永年勤続医療従事者表彰式 300名が表彰される



理事 稲富 仁

去る11月15日(水)ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城に於いて、令和5年度永年勤続医療従事者表彰式を行った。

本表彰式は1973年に第1回表彰式が行われ、今年で50年の節目となる表彰式であった。

開始当初は医療従事者のなり手が少なく、できるだけ長く同一の医療機関で勤務してもらいたいという趣旨のもと始まった表彰式である。

同表彰式は会員が開設する医療機関及び医師会に20年勤務する医療従事者に対して行うもので、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度3年ぶりに表彰式を開催し、今年度は4年ぶりに懇親会を開催した。

当日は玉城信光沖縄県医師会代議員会議長、来賓に糸数公沖縄県保健医療部長のご臨席の下、会員施設79施設から300名の方々が表彰された。

始めに、安里哲好沖縄県医師会会長から受賞者へ以下のとおり激励の挨拶があった。

「今回受賞される皆様につきましては、一言で20年と言いましても、平坦な道のりではなかったと思います。たゆまぬ努力を重ねてこられた皆様ご自身はもちろん、ご家族の理解、職場の上司や同僚の皆様の協力に支えられ、同一の医療機

関で職責を全うしてこられたものと思います。これまで医療や福祉に対し、献身的に活動されたことに深く敬意を表し、改めて感謝申し上げます。

ご承知のとおり、医療を取り巻く環境は2025年に向けた地域医療構想の実現や第8次医療計画の策定、地域包括ケアシステムの構築等、きわめて重要な時期を迎えているところであります。また、来年に迫る医師の働き方改革や医療DXの推進、2024年の診療報酬、介護報酬及び障害福祉サービス等報酬のトリプル改訂等、様々な課題が山積みしております。

このような事から、我々県医師会、地区医師会が連携し、来年の診療報酬改定において、賃金上昇、物価高騰分の財源を確保し、大幅なプラス改定となるよう国会議員に働きかけているところです。

幸いにして、今回表彰を受けられる皆様は、非常に経験豊かな方ばかりでございます。永年培った経験や知識、技術を活かし、地域に根差す医療職者として、良質な医療の提供に努め、引き続き、本県の保健医療福祉の向上にご尽力を賜りたいと思います。」

引き続き、安里会長より各施設の代表者へ表彰状の授与が行われた。



その後、糸数沖繩県保健医療部長より、以下のとおり来賓の挨拶があった。

「令和5年度永年勤続医療従事者表彰を受けられました皆様、誠におめでとうございます。

長年に亘り、医療現場において職務に精励され、県民の健康を守り続けていただいていることに心から感謝を申し上げます。

職務を全うする中では、大変な御苦労があったものと拝察いたします。

今後とも、これまでに培った経験を活かしながら、地域において指導的な役割を果たし、後進の模範的な存在でおられることを期待しております。

さて、県では広範かつ継続的な医療の提供が必要な5疾病、5事業、在宅医療の充実及び医療従事者の養成・確保など、医療計画に位置づけた取り組みを関係者との連携の下、着実に進めていくことが重要であると考えております。

本年度策定している第8次医療計画からは、コロナ禍の医療提供へ及ぼした影響を考慮し、新たに新興感染症の感染拡大時の体制についても検討を行っているところです。

本計画の策定にあたっては、県民ニーズに即した医療サービスを提供するため、沖繩県医師会をはじめとする関係機関の皆様とも十分な意見交換を行い、来年3月までに計画を策定することとしております。

今後とも本県の地域医療提供体制の確保及び健康寿命延伸の取組の推進にあたりましては、医療の現場でご活躍されている皆様との連携が必要不可欠なものと考えておりますので、なお一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、永年勤続医療従事者表彰を受けられました皆様の御健勝と御活躍、並びに沖繩県医師会の益々の御発展を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。」

引き続き、受賞者を代表し、浦添総合病院の理学療法士、松尾のぞみさんから以下のとおり謝辞が述べられた。

「本日は、私達のために、このような盛大な式典を開催して頂き、誠にありがとうございます

す。永年勤続者を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

安里県医師会長をはじめ、多くの皆さま方からの温かいお言葉、大変恐縮いたしております。このような受賞の機会を頂きましたことは、皆様方の厚いご温情の賜物であると存じます。

私達受賞者が今日まで大過なく勤めさせていただきましたのも、ひとえに理事長はじめ、諸先生方のご指導、ご支援があったからこそだと深く感謝申し上げます。

私事ではありますが、20年という長きにわたり、無事に勤務する事ができたのも、ひとえに温情厚く時に厳しく指導して下さった元リハビリテーション部部長、ともに苦悩しながらも切磋琢磨した同僚主任を始め多くのスタッフ、よき理解者として支えてくれた家族のおかげだと感謝しております。

この20年間、健康で誇り高く職務を邁進した思いを、今日の晴れの日で皆様方と一緒に分かち合い、さらに次世代へしっかりとバトンを繋いでいけるように精進したいと強く感じております。

今後とも、私ども微力ではありますが、本日の栄誉ある賞に報いるためにも、さらに自己研鑽を積み重ねて成長していけるよう、一層のご指導とご鞭撻の程宜しくお願い致します。

最後に、沖繩県医師会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げるとともに、御来賓の皆様方のご活躍を祝念申し上げ、受賞者代表の謝辞とさせていただきます。」

引き続き行われた懇親会では、玉城議長より、20年という長い期間、同一医療機関で働いてこられたのは皆様のご尽力の賜物であり、また、施設長や先輩方、同僚の皆さんの協力があったの事だと思う。今後とも沖繩県の医療や福祉に対し、ご尽力いただきたい旨の挨拶の後、乾杯の音頭で祝宴に入った。

昨年は3年ぶりに表彰式のみで開催。今年は4年ぶりに表彰式の後の懇親会が開催され、コロナ禍前のように大勢の表彰者と随行者が参加された。永年勤続を祝い集まった同僚や先生と壇上にあがり記念撮影し、受賞者の永年の労をねぎらい盛会のうちに終了した。